

憲法 -法学入門-**!! 滝原! 啓允!****!" 年! 前期又は後期! ! 選択! 教職課程必修! ! (! # 単位! 講義!) !****■授業の方針・概要!**

この科目では、憲法に関する議論について学ぶことを主としつつも、総体として法学の入門として機能するような工夫を施しながら授業を進めていきます。「憲法」や「法学」などというと、堅苦しくてつまらないものというようなイメージがあるかも知れませんが、そうした不安を払拭すべく、身近なことから様々な事件などを素材に、分かりやすいだけでなく、将来社会人として生活していく上で役に立つような法的知識が得られるような授業とします。

■到達目標（学修成果）!

近年耳目を集めるトピックであって憲法学と関連し得るもの（たとえば、ヘイトスピーチ、PTAに関する賛否、「ブラック企業」における就労など）はもとより、授業の計画に掲げるような様々な単元について、参考文献や具体的な判例・裁判例などを通じて理解を深め、関連する条文の内容及び解釈についての知識を身に付けつつ、法的思考力を涵養する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連!

卒業要件科目で、教養選択科目の単位となります。また、教員免許状取得を目指す方にとっては、教職課程必須科目です。そして、本授業科目は、とりわけ社会人としての資質・能力の向上に貢献します。

■授業計画!

回数!	授業内容!	準備学修!	
		具体的内容（予習・復習等）!	必要時間!
" 回!	ガイダンス、法解釈とは何か、憲法論の概説	予習：シラバスの熟読、憲法条文の印刷（電子政府 e-Gov サイトで無償入手可）	45 分
# 回!	立憲主義、国民主権、平和主義	復習：講義ノートの再読と整理、参考文献等における指示箇所の読解	60 分
\$ 回!	人権論概説、基本的人権、人権享有主体	復習：講義ノートの再読と整理、参考文献等における指示箇所の読解	60 分
% 回!	基本的人権の限界	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
& 回!	生命・自由・幸福追求権、法の下での平等	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
' 回!	精神的自由権① -内心の自由-	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
(回!	精神的自由権② -表現の自由-	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
) 回!	経済的自由権	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
* 回!	人身の自由、国務請求権、参政権	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
" + 回!	社会権① -生存権、教育権-	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
"" 回!	社会権② -勤労権、労働基本権-	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
"# 回!	統治機構概説、権力分立	復習：講義ノートの再読と整理、参考文献等における指示箇所の読解	60 分
"\$ 回!	国会、内閣	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
"% 回!	裁判所、財政・地方自治	復習：講義ノートの再読と整理、紹介した判例・裁判例の重要判示部分の再読	45 分
"& 回!	まとめ	復習：試験問題の振り返り	60 分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

15 回目に試験の解説をする。

■成績評価の方法・基準!

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

成績評価においては、15 回目に行う試験結果を基本とするが、授業態度・姿勢を重視するのみならず、適宜課す日常課題をも加味する。なお、出題する可能性のある箇所は、それぞれの授業回において、その旨をその都度言及するので、復習に力を入れていただきたい。試験には、自筆の講義ノートであれば、持ち込み可とする。

■教科書 特に指定しない。板書をするのみならずレジュメ等の資料を配布する。!**■参考文献!**

- ・芦部信喜『憲法（第6版）』（岩波書店、2015年）
- ・田中成明『法学入門（新版）』（有斐閣、2016年）
- ・長谷部恭男『法とは何か -法思想史入門-（増補新版）』（河出書房新社、2015年）
- ・石田眞、竹内寿監修『ブラックバイト対策マニュアル』（早稲田大学出版部、2016年）

■オフィスアワー・研究室 連絡先：教務課（本校舎） 出講日：金曜日!**■備考! なし**

体育 A—身体と健康—

水上 雅子

1年 前期又は後期 選択 教職課程必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

私達は自由からからだを動かすことができます。しかし、他者との同一の動きを行うことは不可能です。

本学の体育は、身体活動の実践を通して、他者の身体活動を観察することによって自分の動きとの違いを理解し、自分自身の身体の動きを正確に知ることや、こころの有り様を知ることです。そして、他者との違いを、いかに自分の中に取り入れ融合させるかを学習する“からだの教育”です。自ら進んで以下の内容に取り組んで下さい。

■到達目標（学修成果）

この“からだの教育”から生涯において健康で豊かな生活を維持できるよう身体活動を生活化し、環境状況に適応していける能力が培われます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は、卒業要件科目の社会人としての豊かな人間性を涵養することをめざす教養科目の単位となります。また、教職課程必須科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	授業のイメージづくり 個人票の作成、到達目標、自己目標の明確化	予習 シラバスを読んでくる。	10分
2回	健康観づくり 姿勢と自分の動き	復習 自分の姿勢に注意して生活をし、感じたことをレポートにまとめる。	30分
3回	仲間づくり P.A.（コミュニケーションプログラム）	復習 P.A.を体験して感じたことをレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
4回	バレーボールとソフトバレーボール① ボールを利用した動きづくり	復習 自分のからだの動きについてレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
5回	バレーボールとソフトバレーボール② ボールの扱いと移動パス（横・縦）ゲーム	復習 移動パスをして感じたことをレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
6回	バレーボールとソフトバレーボール③ 正式なゲーム	予習 バレーボールのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
7回	ニュースポーツ① ビーチボール、インディアカ、キンボール	予習 ニュースポーツの歴史やルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
8回	バスケットボール① 基本的なボールの扱い	復習 バスケットボールの基本的を体験して感じたことをレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
9回	バスケットボール② 基本的な動きと変形ルールでのゲーム	復習 チーム内のポジションと動きを確認する。基本運動を3日以上実践する。	30分
10回	バスケットボール③ 正式なゲーム	予習 バスケットボールのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
11回	ニュースポーツ② アルティメット（フリスビー）	予習 アルティメットについて調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
12回	フットサル① 基本的なボールの扱い	復習 フットサルのゲームの動画などを観てイメージをつかむ。基本運動を3日以上実践する。	30分
13回	フットサル② 正式なゲーム	予習 フットサルのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
14回	チームスポーツのまとめ	復習 体験したスポーツについて振り返りレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
15回	クラス内または合同のスポーツ大会	復習 前期に学んだことを到達目標と比較して振り返りレポートにまとめる。	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

レポートの返却・添削、準備学修の指導は、授業内に manaba を活用し行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーションを含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーションを含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 必要に応じて資料を配布する。

■参考文献 随時紹介 経験する種目のルール集

■オフィスアワー・研究室

初回授業で伝える 【連絡研究室】 体育研究室（第4校舎1階 体育館横）

■備考

基本運動：毎回縄跳び（3分間～5分間）腹筋・背筋—体力維持、ストレッチなど、身体活動の生活化
コーディネーショントレーニングの導入 課題1～7を身につける。状況に応じて内容が変化することあり。

体育 B—身体と表現—

水上 雅子

1年 後期 選択 教職課程必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

スポーツも日常の生活も、全て身体活動です。しかし、現在の私たちは“からだ”に対して興味が無く、自分の“からだ”なのに借り物のようです。“からだ”を意識し、どう付き合うのかを学習することは大切です。なぜなら、自分の“からだ”こそ個性であり、身体活動こそ自己を表現する基本だと思うからです。一流のスポーツ選手のパフォーマンスに感動を覚えたことはありませんか。他人の何気ない振る舞いに美しさを感じたことはありませんか。自分の身体活動にも、自然な美しさや自分らしさが表現できたら楽しいと思いませんか。

■到達目標（学修成果）

授業では、スポーツを通して自己の表現を探し、自分らしさを発見できます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目の社会人としての豊かな人間性を涵養することをめざす教養科目の単位となり、教職課程必須科目です。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	授業のイメージづくり 個人票の作成、到達目標、自己目標の明確化	予習 シラバスを読んでくる。	10分
2回	からだを動かす 一人、またはペア、グループでからだを動かす	復習 自分の体の動きをレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
3回	バドミントン① 基本技術の習得	復習 シャトルとボールの違いをレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
4回	バドミントン② 応用技術の習得・ダブルス練習	予習 ダブルスのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
5回	バドミントン③ 正式なルールでのゲーム（ダブルス）	復習 シングルスとダブルスのルールの確認。基本運動を3日以上実践する。	30分
6回	ニュースポーツ③ スピードミントン	予習 スピードミントンについて調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
7回	卓球① 基本技術の取得・シングル練習	予習 シングルのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
8回	卓球② 応用技術の習得・ダブルス練習	予習 ダブルスのルールを調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
9回	卓球③ 正式なルールでのゲーム（チーム戦）	復習 ルールと動きの確認をし、レポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
10回	『動きの表現—写真』 グループで動きの感じられる作品づくり	予習 作品の構想を考えてくる。基本運動を3日以上実践する。	30分
11回	ニュースポーツ④ タグラグビー	予習 タグラグビーについて調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
12回	ユニバーサルスポーツ① 障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。	予習 ユニバーサルスポーツにどんな種目があるか調べる。基本運動を3日以上実践する。	30分
13回	ユニバーサルスポーツ② 障害者も健常者も共に楽しめるスポーツを実践してみる。	復習 授業を振り返り、実践した感想をレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
14回	正式ルールでゲームを行う。 各クラスで種目を選択し、実践する。	復習 体験したスポーツについてレポートにまとめる。基本運動を3日以上実践する。	30分
15回	クラス内または合同のスポーツ大会	復習 後期に学んだことを到達目標と比較して振り返りレポートにまとめる。	30分

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

レポートの返却・添削、準備学修の指導は、授業内に manaba を活用し行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーションを含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーションを含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書 必要に応じて資料を配布する。

■参考文献 随時紹介 経験する種目のルール集

■オフィスアワー・研究室

初回授業で伝える 【連絡研究室】 体育研究室 (第4校舎1階 体育館横)

■備考

基本運動：毎回縄跳び（ダブルタッチなど）・腹筋・背筋—体力維持、ストレッチなど、身体活動の生活化状況に応じて内容が変化することあり。